

科目名	キャリアデザイン2							年度	2026
英語科目名	Career Design 2							学期	前期
学科・学年	CG映像科 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	栗原、堀尾、小山、小嶋		教員の実務経験	有	実務経験の職種		画家、CG研究/グラフィックデザイナー/WEBデザイナー/プログラマー		
<b>【科目の目的】</b> この科目は、就職活動を通じて社会人になるための心構えやマナーを身につけることを目的とする。 なるべく多くのCG業界の企業に目を向け、企業研究するとともに、それを通じて自らの進路の可能性を広げる。又、CG業界は主にチームによる制作の場であることを理解し、プレゼンテーション練習、面接練習を通してコミュニケーション力の向上を図る。									
<b>【科目の概要】</b> 業界研究、自己分析などをさらに進め、キャリアパスの構築を行います。企業を招いて業界セミナーを実施する場合があります。(キャリアデザイン2、デジタル演習9、デジタル演習10は続きの授業となります。)□									
<b>【到達目標】</b> ・就職活動に使用する作品を準備する。 ・就職活動に向けた、履歴書、エントリーシートを完成させ就職活動を行う。  ※学生個人、グループにて想定される作品ジャンルは、以下のとおり。 2Dグラフィックス、3Dグラフィックス、モーショングラフィックス、VFX									
<b>【授業の注意点】</b> 進路設定の目標がぶれない様、指導を行う。 出席が授業時限数の3/4を下回り、成績評価物が提出されていない場合は評価しない(不合格)。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	能動的に学内外の説明会参加や企業調べを行い、自分の就活軸を明確に持つことができる。		教員に促され、学内外の説明会参加や企業調べを行い、自分の就活軸を持つことができる。		説明会参加、企業調べができず、就活軸が見いだせない。				
到達目標 B	web・PDFポートフォリオ、デモリールなど就活に必要な作品集が完成し、どのような形式でも応募に対応することができる。		web・PDFポートフォリオ、デモリールなど就活に必要な作品集のいずれかが完成し、一部の企業の応募に対応できる。		web・PDFポートフォリオ、デモリールなど就活に必要な作品集が完成せず、業界での求人応募ができない。				
到達目標 C	履歴書講座や面接練習をもとに自己分析を行い、自主的に履歴書やESの作成ができる。面接練習や授業内の面談で、自身の考えを文章や言葉で表現することができる。		履歴書講座や面接練習をもとに自己分析を行い、履歴書やESの作成ができる。面接練習や授業内の面談で、担当教員に促されて自身の考えを文章や言葉で表現することができる。		履歴書講座や面接練習をもとに自己分析を行い、履歴書やESに着手し始める。面接練習や授業内の面談で、自身の考えを文章や言葉で表現することができない。				
到達目標 D	企業受験に関する相談を自ら担当教員に報連相することができる。		企業受験に関する相談を担当教員に報連相することができる。		企業受験に関する相談を担当教員に報連相できない。				
到達目標 E	希望の企業に内定を得る。または、書類が通過し、面接経験がある。10社以上の企業受験が出来た。		書類が通過し、面接経験がある。5社以上の企業受験が出来た。		書類が通過しない。あるいは企業受験まで準備が到達しない。				
<b>【教科書】</b> 毎回プリントを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
<b>【参考資料】</b>									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 試験・課題50%完成した企画の完成度について評価する。 平常点 50%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		キャリアデザイン2			年度	2026
英語表記		Career Design 2			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	企業研究1	企業研究の方法を理解する	1 企業研究	業界を理解し、必要書類等を理解	1	
			2 就活研究	就職を希望する職種を理解		
			3 就活サイトや書籍	就職に役に立つサイトや書籍を理解		
2	企業研究2	会社の雇用形態や規模を知る	1 雇用形態	会社の雇用形態の内容の理解	1	
			2 会社規模	会社規模の理解		
3	個別相談1	就活の進捗確認	1 個別相談 ※相談者以外は、引き続き、応募に関する準備や作品制作、企業課題などを行う作業時間とする。	履歴書などの応募書類のチェックを行う	1	
4				作品集のチェックを行う		
5				受験企業リストのチェックと相談を行う		
				受験企業の傾向と対策を相談する		
6				メールや電話などの企業との対応を確認する		
				説明会参加の注意事項を確認する		
7				web面接の注意事項を確認する		
				対面面接、企業訪問時の注意事項を確認する		
8				最終面接の注意事項を確認する		
				面接シミュレーション：自己PRを確認する		
9				面接シミュレーション：キャリアプランを確認する		
				面接シミュレーション：企業への質問を確認する		
10				受験後の対策を相談する		
				今後の受験企業の方針を相談する		
11	内定承諾書など、企業提出書類を確認する					
12						
13						
14						
15	個別相談2	就活戦略の相談	1 就活方針決定	今後の就活の方向性の相談をする	1	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等